



報道関係者各位

2022年3月3日  
横浜中華街発展会協同組合  
理事長 高橋 伸昌



## 「横浜中華街 2022 春節燈花」での取り組みが

### 令和3年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ受賞

横浜中華街と横浜地域の発展のために活動する横浜中華街発展会協同組合（以下、「中華街発展会」）は、2022 春節燈花（イルミネーション）において使用する電力を再生可能エネルギー（カーボン・オフセット）にてまかない、その活動が、令和3年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ「東北地域再エネ推進部門」を受賞いたしました。

「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」は、表彰を通して優良な取り組みを広く紹介することで、カーボン・オフセットの普及や理解促進をはかるとともに、地球温暖化対策から波及する複合的な社会貢献を奨励し、低炭素社会の実現に資することを目的とした、J-クレジット東北地域推進協議会（事務局：東北経済産業局）が主催する、東北地域におけるカーボン・オフセットの中で、モデル性が高い優良な取り組みを評価し、その実施団体を表彰する制度です。

「SDGs な街・横浜中華街」を目指す横浜中華街では、地球に優しい街づくりを目指し、街中の街灯や牌楼の LED 化など環境インフラ面での取り組みを進めています。そして本年、かねてから模索しておりました再生可能エネルギーを活用すべく、年間の活動で最も電力を消費する「春節燈花（イルミネーション）」にて、実施しました。横浜中華街の春節は、広く知られる人気のお祭りで、例年多くの方が来街されます。その春節で実施することで、一人でも多くの方に環境エネルギーについて知る機会になれたらと考えました。そして、地球温暖化対策から波及する社会貢献を奨励し、脱炭素社会の実現に資すること。また、東日本大震災への継続的な復興支援として、東北地域の太陽光を発電源とするカーボン・オフセットを採用しました。

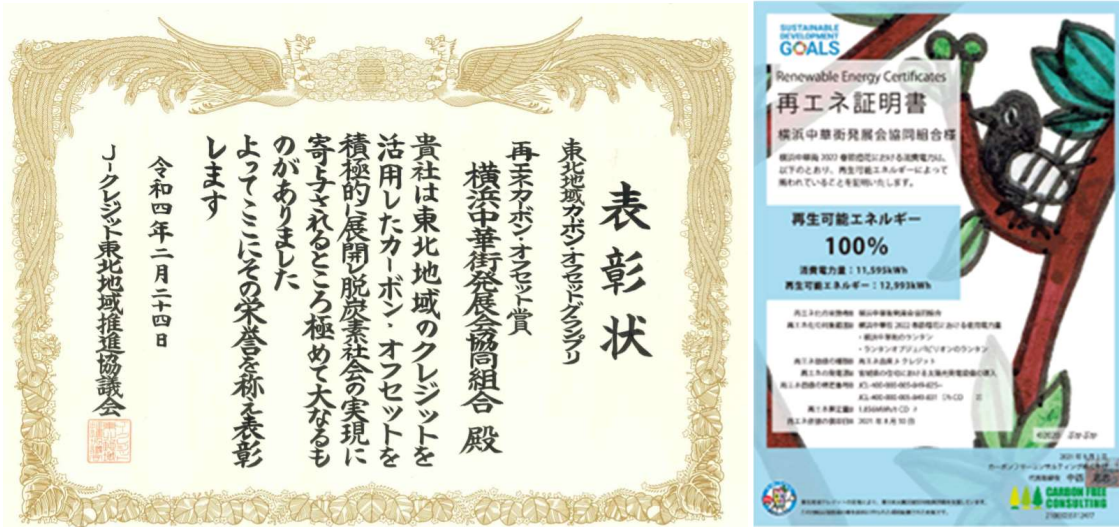
本来は、2022年2月に仙台にて授賞式とシンポジウムが開かれ、活動や今後の取り組みについて広くお伝えできる予定でしたが、まん延防止等重点措置延長の影響などから中止となりましたため、コロナ禍での明るい話題とともに、再生可能エネルギーについての取り組みと意見を多くの皆さまに知っていただく機会のご提供をお願いいたします。

中華街発展会は、街の組合として、横浜の発展の一助を担うものとして、可能な限りの社会的責任を果たし、引き続き全力で取り組んでまいります。



<受賞した部門と取り組みについて>

●部門：令和 3 年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ「東北地域再エネ推進部門」



●取り組み内容：

1. 電球のLED化
2. 再生可能エネルギーによる電力使用

●再生可能エネルギー：カーボン・オフセット

●環境証書種別：J-クレジット（再生可能エネルギー電力由来）

●対象電力：

① 2022 春節燈花（イルミネーション）

場所：横浜中華街全域

実施期間：2021年11月1日～2022年2月28日



② 2022 春節ランタンオブジェパビリオン

場所：山下町公園

期間：2022年1月15日～29日





<横浜中華街の環境負荷低減への想いと、東日本大震災復興支援について>

## 横浜中華街のSDGsモデル 街と個店のバリュー上げる「共創まちづくり」



横浜中華街ネクストブランドビジョン

### リピーター溢れる街・横浜中華街

～持続可能社会と経営を実現する横浜中華街へ～

活動の軸にSDGsを置き、全力で取り組んでいます

横浜中華街は、2020年1月にネクストブランドビジョンを掲げ、「SDGsな街・横浜中華街」を目指し、様々な活動を行っています。その中でも、環境負荷低減への取り組みは、街として積極的に取り組むべきことであると考えています。

横浜中華街には、土産店、食材店、洋服店、理髪店、マッサージ、占い、エンターテインメント、画廊、廟など多種多様なお店がありますが、やはり中心は「食」であり、来街される方の殆どが「食」を中心に街を楽しめます。

「食」を提供するには、食材とそれを調理する電気やガスがあるからです。お店の運営にも電気は欠かせません。それらは全て環境に負荷がかかった産物であり、その恩恵に感謝するとともに、負荷を下げる努力をすることは、自然な成り行きで当たり前なことだと考えます。

～東日本大震災復興への想い（副理事長：武松）～

東日本大震災から9日後の2011年3月20日、横浜中華街にある横濱媽祖廟の開廟を祝う媽祖祭にて、海の平穏を司る神「媽祖」を奉る巡行パレードが行われました。震災直後のこともあり、日本中でイベントごとが取り止めになることが多かったのですが、媽祖は、天災や厄病から人々をお守りする神様として知られ、被災された皆様への勇気づけと一日も早い被災地復興への願いたいと実施、被災地への支援に向けた募金活動も合わせて行いました。

「ありがとうございます。東北への支援活動まで・・・本当に来てよかったです。」

パレードの最中、福島原発の被災地域からいらした女性に声を掛けられました。

当時、中華街エリアの電力は上越と東北地域から送電されていました。そこで電気を作ってくださいから、何不自由なく街の活動ができるのです。

この方の言葉は私にとって衝撃に近い経験であり、気付きました。残念ながら、その場で御礼を伝えることが精一杯で、その後も恩返しはできていません。

街のみなさんも、個人として東北への支援をしています。けれど、街として御礼をした



い。恩返しができなかった分、恩送りをしよう。そんな思いから、今回、東北地域の再生可能エネルギーを選択しました。

例年好評をいただいている春節燈花（イルミネーション）は、横浜中華街への来街を促進してくれています。その灯りで街は繁栄しています。

環境負荷低減とその啓発だけでなく、「おかげさまで繁栄できている」ことを認識し、感謝し、少しでもお返しする。

そういうことが考えられ、実行できる街が「SDGs な街」であると思っています。

今回、令和 3 年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ「東北地域再エネ推進部門」に選んでいただいたことへ心から感謝するとともに、引き続き環境負荷低減への活動を進めていきたいと心新たにいたしました。



（横浜中華街発展会協同組合  
理事長：高橋 伸昌（左）、副理事長：武松 昭男（右）

<本件に対するお問い合わせ>

横浜中華街発展会協同組合 担当：入澤 [info@chinatown.or.jp](mailto:info@chinatown.or.jp)

TEL. 045-662-1252 FAX. 045-211-0593

神奈川県横浜市中区山下町 118-2 留日廣東會館ビル 5F [www.chinatown.or.jp](http://www.chinatown.or.jp)